

# 北海道駒ヶ岳

## 1 概況

火山活動は静穏な状態が続きました。

地殻変動はわずかながら山体膨張の傾向が継続しています。昭和4年火口などではこれまでと同様弱い噴気活動が続いています。地震活動には特段の変化はなく静穏に経過しました。

## 2 噴煙活動の状況

昭和4年火口及び96年南火口列の弱い噴気がしばしば観測されました。噴気の高さは概ね火口縁上50m以下でした。

## 3 地震活動の状況

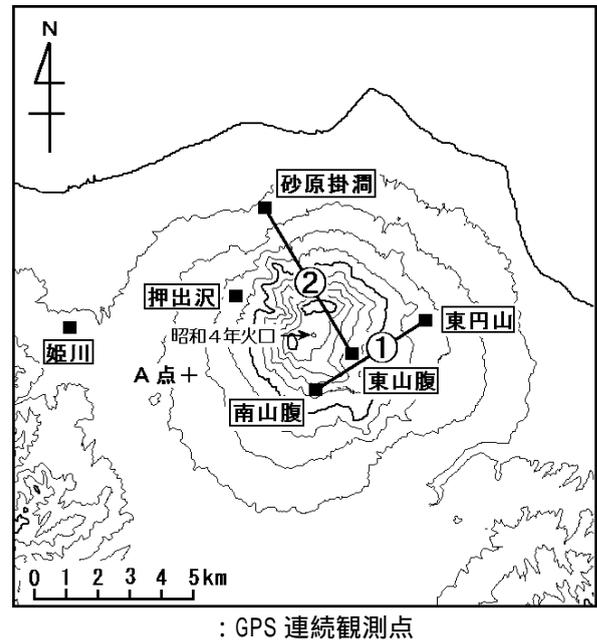
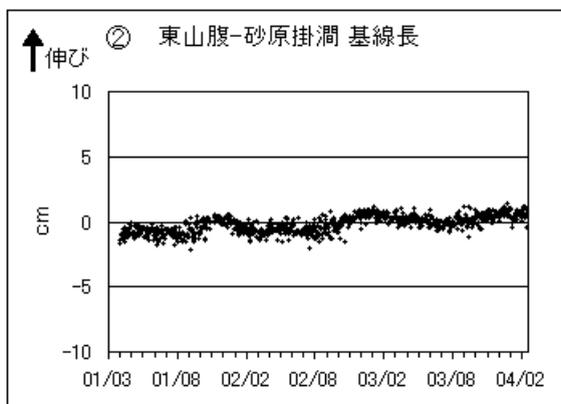
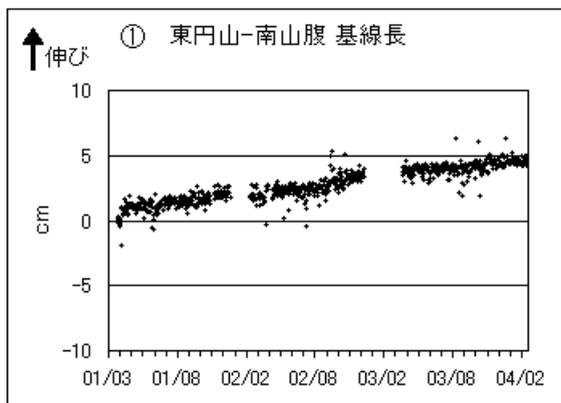
地震回数は引き続き少ない状態で推移しました。火山性微動は2001年1月以降観測されていません。

月別地震・微動回数(A点)

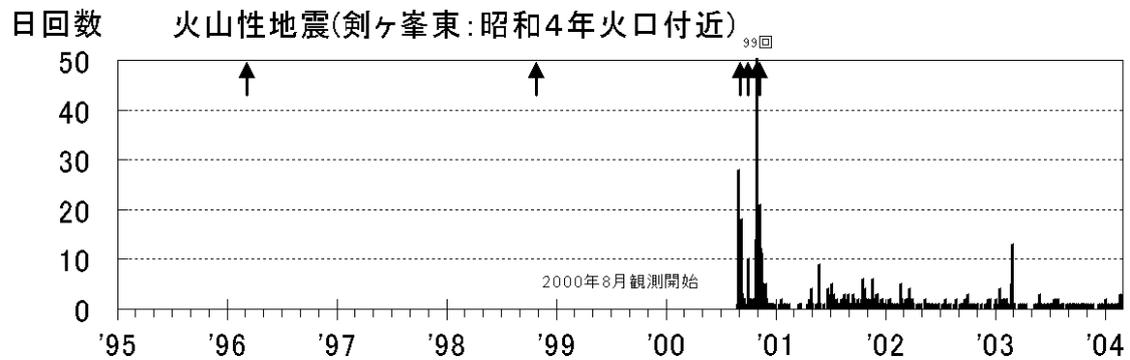
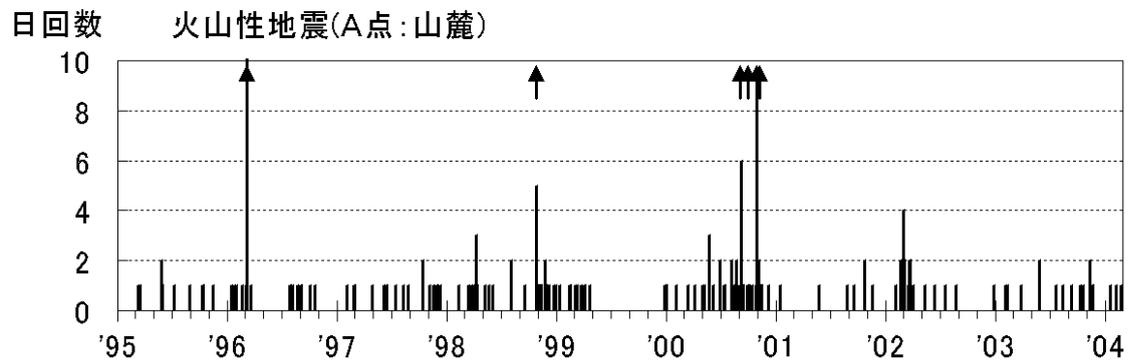
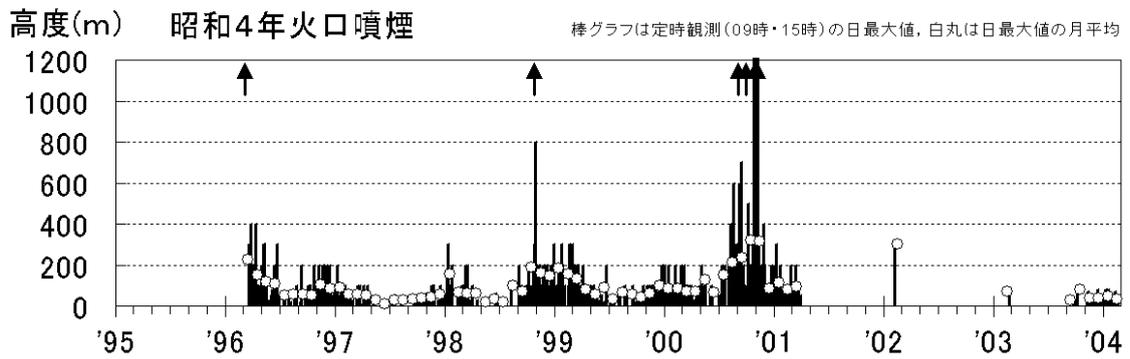
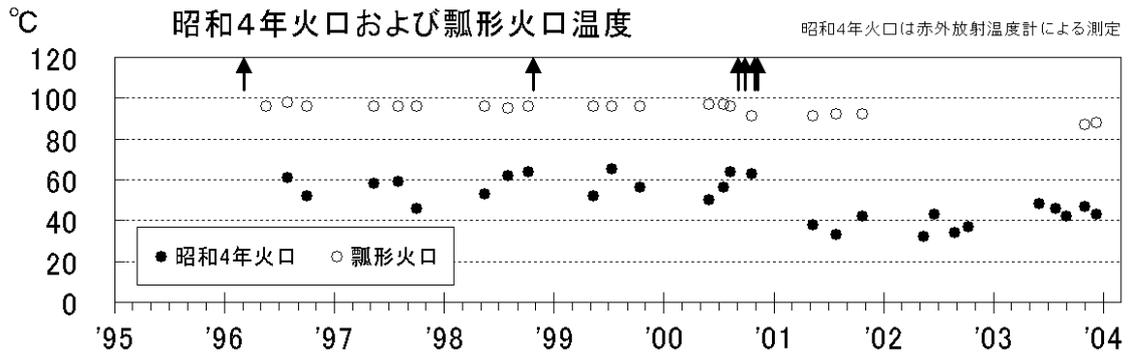
2003~2004年	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
地震回数	1	0	2	0	1	1	1	2	4	0	1	2
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 4 地殻変動の状況

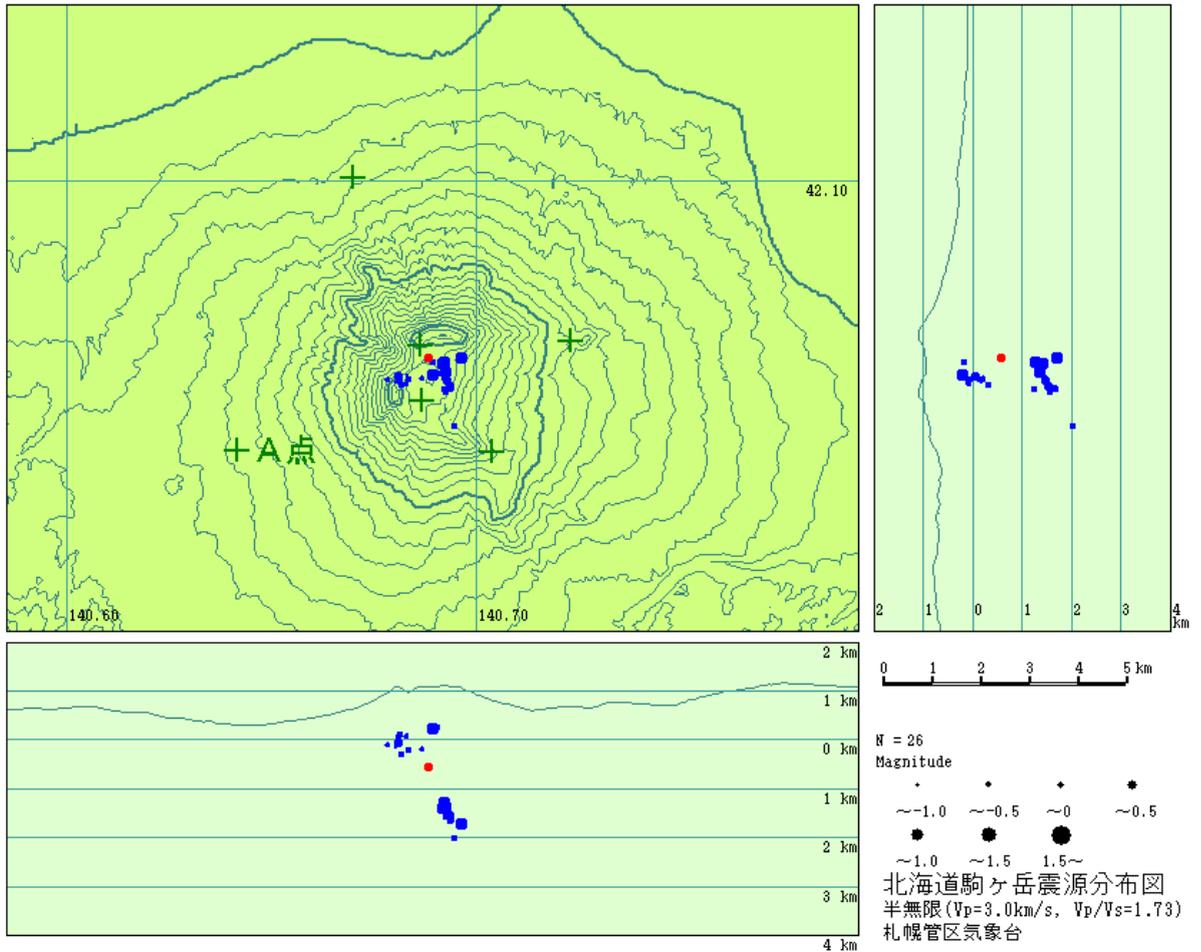
GPS連続観測では、引き続きわずかな山体膨張を示す基線長の伸びが認められます。



北海道駒ヶ岳基線長変化(2001年3月23日~2004年2月29日)



日データによる北海道駒ヶ岳火山活動経過図(1995年1月1日~2004年2月29日) 印は噴火



北海道駒ヶ岳震源分布図

+印は地震観測点

震源表示 赤：2004年2月1日～2月29日（今期間）

青：2003年2月1日～2004年1月31日（前期間までの1年間）

過去の震源は大きく分けて山頂火口原直下の海拔付近と海拔下1～2kmに集中して分布している。

この他に山麓のやや深いところ（5～10km）を震源とする地震が時折発生するが、十分な精度が得られないためこの図には表示していない。